

# きらり いわた 人



今秋からマンガ連載スタート  
マンガ家

## みつちよ丸 さん

1981年生まれ。磐田市出身、三重県四日市市在住。家族は夫、長男、長女と2匹の愛猫。ペンネームは元上司のつぶやきから生まれた。

**今**回のきらりいわた人は、昨年行われた第2回「少年ジャンプ+連載グランプリ」でグランプリを獲得し、今秋からウェブサイトで「少年ジャンプ+」でマンガ連載をスタートする「みつちよ丸」さんです。

マンガ家を目指すまでの道のりを教えてください。

昔から絵を描くこともマンガを読むことも好きで、高校生の頃から流行のキャラクターを描いていました。当時からマンガ家に興味がありました。が、「マンガはいつか描けるかもしれない」と思い、化学メーカーに就職し、理系の研究者の道に進みました。

転機は平成25年に約7年勤めた会社を退職したことでした。第2の人生で何をしようか考えた時、それまでくすぶっていたマンガ家への思いが爆発しました。子育てに奮闘しながらも、独学でマンガをひたすら描きました。回り道で得た経験や知識は、マンガのストーリーを考える上で武器になっていると感じています。

グランプリ挑戦のきっかけは？

少年ジャンプの担当編集者から連絡があり、「連載グランプリに応募してみませんか」と声を掛けてもらったことがきっかけです。読者と編集者による4回の審査を勝ち抜いて、グランプリを獲得しました。マンガ家としてのデビューが決まったときはとてもうれしかったです。

マンガをどのようにつくっていますか？  
まず描きたいマンガの断片的な映像が、映画のCMのように頭の中に流れてきます。浮かんだシーンを繰り返し頭の中で再生すると、その続きがふっと流れてきます。これを繰り返してストーリーを頭の中でつくります。頭の中ですら流れる状態にしてから紙に鉛筆で下書きをしてパソコンで仕上げます。  
子ども達を保育園に預けている時間を使ってマンガを描いていますが、時間が足りないのが悩みです。

「少年ジャンプ+」で連載されるマンガ「生者の行進」はどんな内容ですか？

霊が見える男子高校生の主人公が、悪霊によって危険が迫るヒロインを救うために活躍するホラーサスペンスです。年明けにはコミック第1巻も発売予定です。人間ドラマに重点を置いて描きたいと思っていますので、ホラーということと敬遠せずに、ぜひ皆さんに読んでほしいと思います。



みつちよ丸さんにしゅべいのイラストを特別に描いてもらいました！